



ひとたびページをめくって、ハッとさせられた。見慣れたいつもの街風景、ただ通り過ぎるだけの路地裏……でも、そこには今日も「誰かの物語」が存在している。

よく知っている場所のはずなのに、息をのむほど鮮やかな色彩で広がる路地裏の写真。写真に添えられた「旅の男」と「街の女」の心模様が、読み進めるほどクロスしあい、まるで映画の一場面のように私に迫ってくる。

「街は今日も時を刻み、人はそれぞれ旅を続ける。」

いつもの帰り道、今日はちょっとゆっくり歩いてみようかな。

道端におかれた自転車、レトロな朱色の郵便ポスト、橋の下の水面に映る行きかう人々。どこからともなく飛んできたシャボン玉は、誰かの願いが…ほら、ふわり。

写真集を小脇に抱え、いつものまにかレンズ越しに「誰かの物語」を探している自分がいた。

本を持って出かけよう

…… 第2回 ……

『弘前路地裏散歩』を持って

『弘前路地裏散歩』

弘前在住の写真家・八木橋廣氏による写真集。弘前に住んでいる人なら見慣れたいつもの風景に、短編小説が添えられ、まるで映画を観ているような雰囲気になります。

『弘前路地裏散歩』(津軽弘前 2)
八木橋廣・白神書院、2015年
A748 || Y15ts || 2 (地域志向コーナー)

附属図書館 地域志向コーナー

弘大図書館本館1階には、弘前市や青森県をテーマにした資料を集めた「地域志向コーナー」があります。

